

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

「安全」「鉄道」より労組攻撃

喜勢副社長「輸送・安全のスキルない」

JR東日本「取締役のスキルマトリックス」より

氏名	役職	輸送サービス・安全
富田哲郎	取締役会長	○
深澤祐二	代表取締役社長	○
喜勢陽一	代表取締役副社長	(なし!)
伊勢勝巳	代表取締役副社長	○
渡利千春	代表取締役副社長	○



重大事故が続発する中でも…

JR東日本で重大事故が続発しています。1月に東北新幹線で停電・感電事故が発生しました。昨年も「単線区間で上下線列車が同時進入」「内房線で作業員が感電死」「東海道線で

折れた電化柱と列車が衝突」などが立て続けに発生しました。

根本的な問題は、JR東日本が進めてきた業務の外注化であり、「IT企業化」「業務融合化」を掲げた鉄道業務と安全、そこで働く労働者をないがしろにする施策です。

この会社の姿勢を象徴するのが、「喜勢新社長」の人事です。

JR東日本の「取締役のスキルマトリックス」によれば、3人の副社長のうち「輸送サービス・安全」の項目にチェックがないのは喜勢副社長だけで

す。

会社は、鉄道の根幹である輸送や安全の技術・経験が不足していると認める人物を社長に昇格させるというのです。

すべて「労組対策」のため

そもそも喜勢副社長は「労働組合対策」で出世してきた人物です。「紹興酒事件」でも社長に昇格できるのは「労組解体に尽力した」からです。

喜勢副社長が主導した職名廃止や業務融合化は「職名にこだわって組合活動につながることを防ぐため」と語っています。

なぜ会社が「労組対策」にここまでこだわるのか？ 逆に言えば、ここに会社の攻撃を打ち破る力があるからです。

鉄道業務や安全、働く者の権利も生活もないがしろにする会社のやり方は絶対に許せません。3月ダイ改・業務融合化、運輸区廃止反対、ジョブローテーション撤回の声をあげよう。